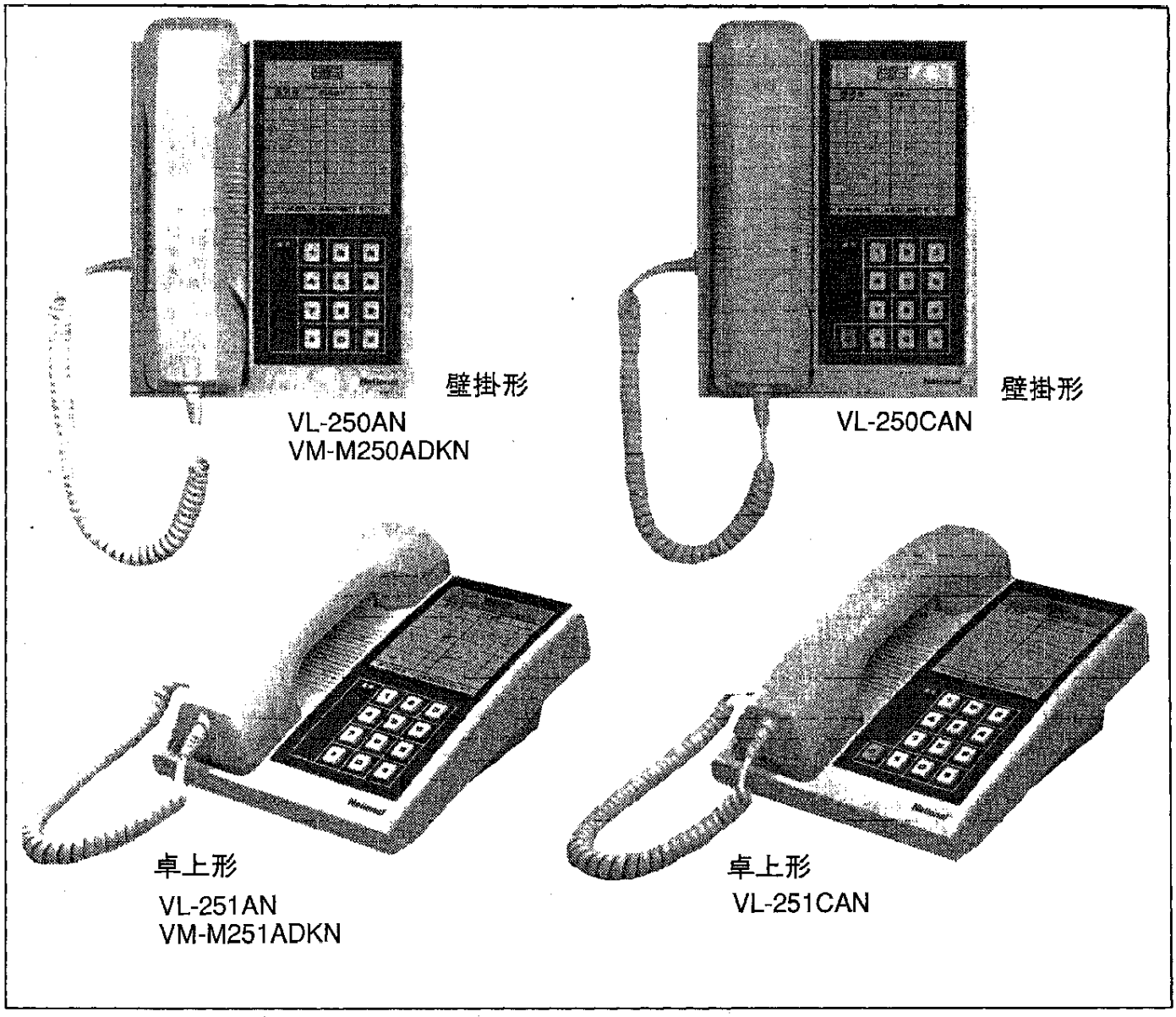
この商品は生産終了につき
製造することができません

National

マイコン内蔵〔構内専用〕

テレホン96



保証書別添付 **取扱説明書** 工事説明付き

このたびは、テレホン96をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

生産終了品
この商品は生産終了につき
製造することができません

もくじ

安全上のご注意 ……3
設置場所／お手入れについて ……5
各部の名前と働き ……6
記名カードの記入方法 ……7
サービストーン ……7
付属品……7
相互通話 ……8
着信転送 ……11
発信転送 ……12
会議通話 ……13
話中割込通話 ……14
番号設定方法 ……15
取付方法 ……16
仕様 ……18
保証とアフターサービス……19

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠警告

分解・改造しない

感電の原因となります。

分解禁止

- 内部の点検や修理などは、販売店へご依頼ください。

煙が出ている、異常に熱い、変な臭いがする時は、事故防止のため使用しない

火災や感電の原因となります。

禁 止

- 売店にご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠警告

異物を入れない

禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因となります。

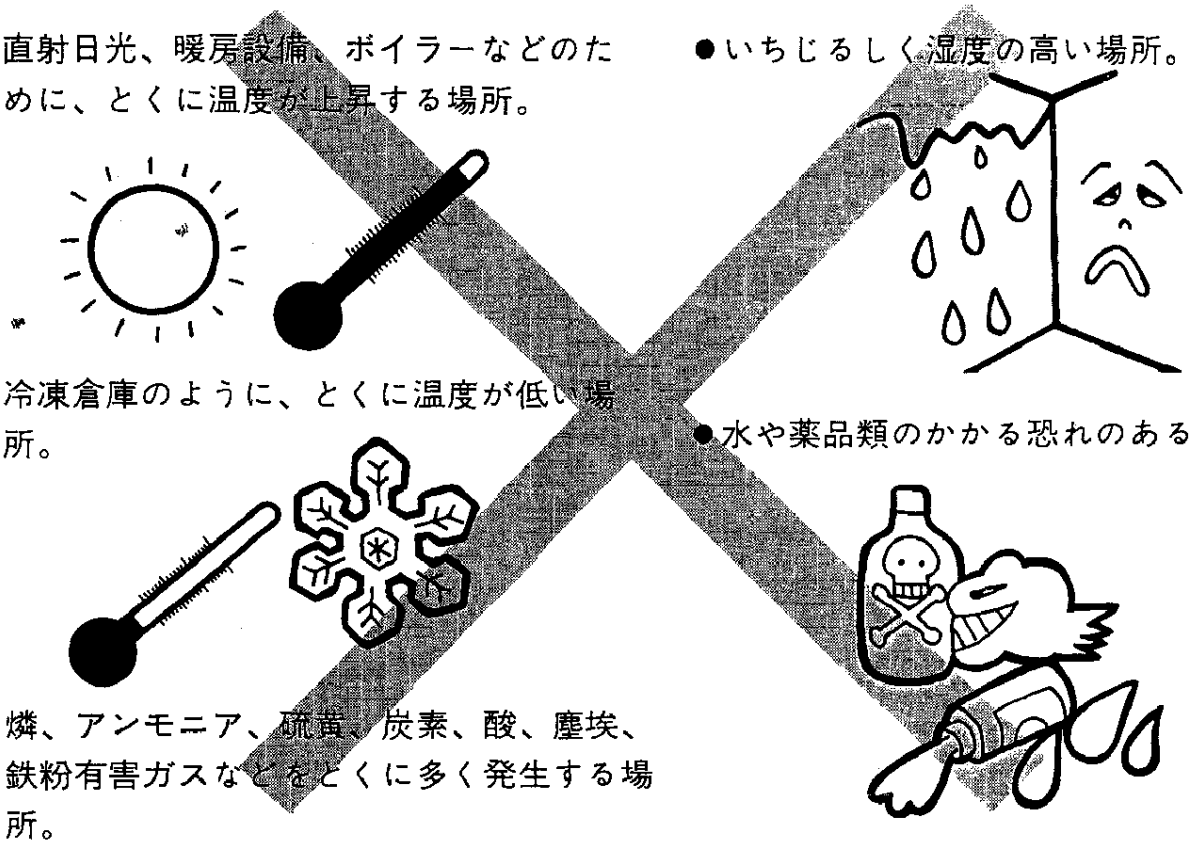
指定以外の別売機器や、互換性のない機器は接続しない

禁止

火災や感電の原因となります。

設置場所

次のような場所はさけてください。



●直射日光、暖房設備、ボイラーなどのために、とくに温度が上昇する場所。

●いちじるしく湿度の高い場所。

●冷凍倉庫のように、とくに温度が低い場所。

●水や薬品類のかかる恐れのある場所。

●燐、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、鉄粉有害ガスなどをとくに多く発生する場所。

お手入れについて

清掃するときはスイッチ類に触らないでください。

●誤動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい布でふいてください。

●汚れがひどい場合は柔らかい布に薄めた台所用洗剤をしみこませ、固く絞ってからふき、乾いた布で仕上げてください。

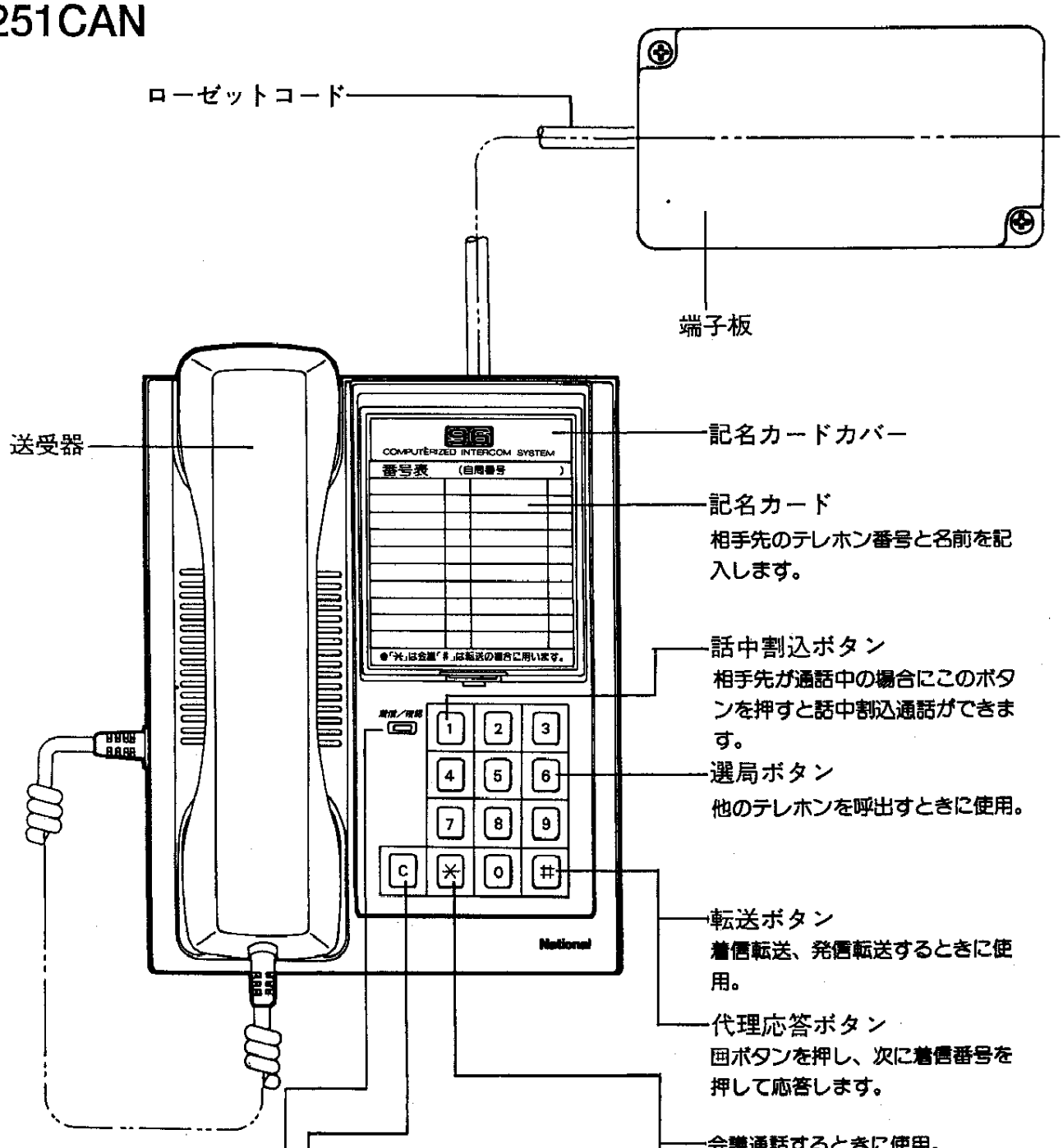
お手入れに次のものは使用しないでください。

（石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・粉石けん・熱湯）

●化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。

各部の名前と働き

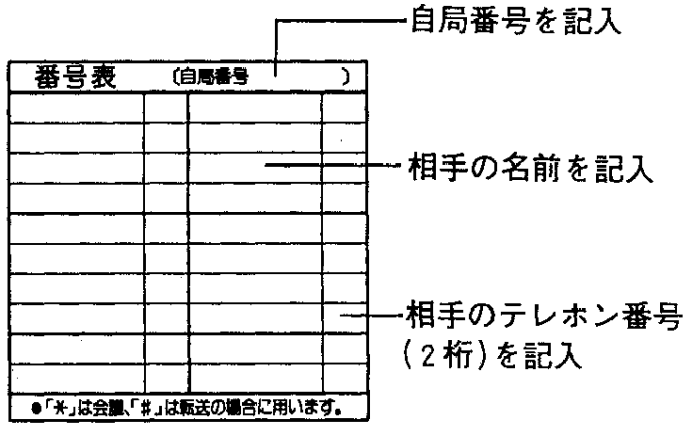
VL-251CAN



VL-250AN／251AN／VM-M250ADKN／M251ADKNには[C]ボタン（コントロール）がありません。
※壁掛形VL-250AN／250CAN／VM-M250ADKNには端子板・ローゼットコードはありません。

記名カードの記入方法

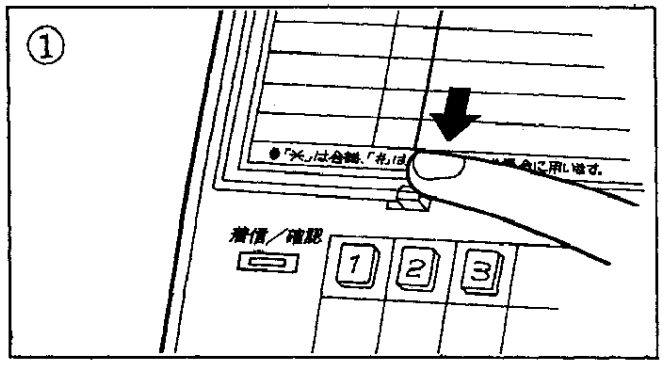
記名カードはカバー内に入っていますので、カバーをはずして、他のテレホン番号と名前を記入してください。

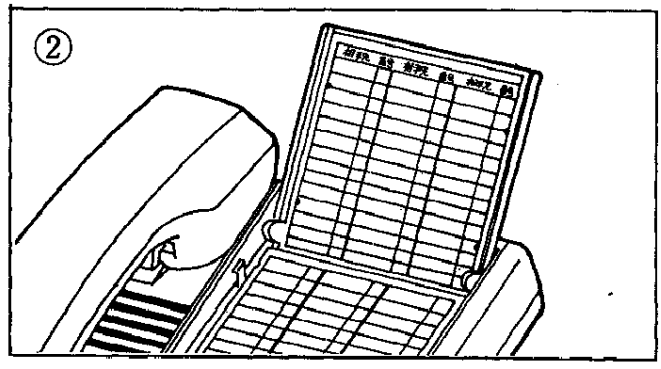


カバーのはずしかた

①ツマミを手前に引くとカバー止めがはずれて開きます。

②記名カードを取り出して記入してください。





サービストーン

5つのサービストーンにより、通話の確認ができます。

ダイヤルトーン
(ダイヤル可能確認音) ——→ツー

ダイヤル確認音
(ダイヤルプッシュ確認音) ——→ピッピッ

リングトーン(呼出音) ——→プルプル

リングバックトーン(呼出確認音) ——→プルプル

ビジートーン(話中音) ——→ツーツー

付属品

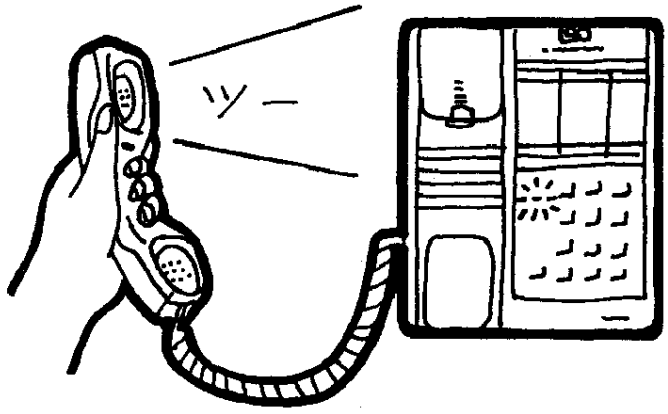
品番 / 付属品	VM-M250ADKN VL-250AN VL-250CAN	VM-M251ADKN VL-251AN VL-251CAN
木ねじ (3.8mm×16mm)	2	2
小ねじ (4mm×25mm)	2	2
局番設定用 デジットピン	1セット	1セット
コードクランパ	—	1
コードクランパ用 小ねじ(3mm×12mm)	—	2

相互通話

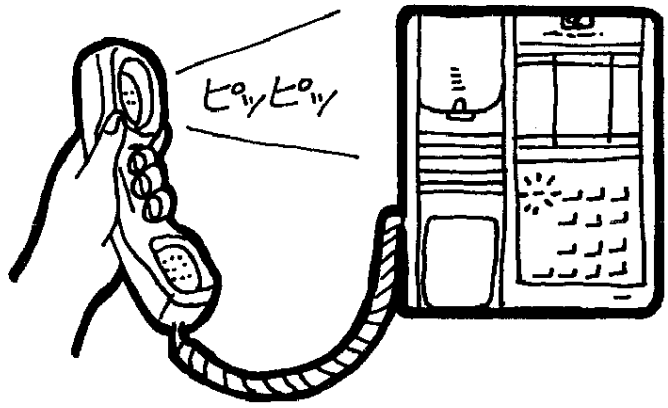
呼出しかた

(1)送受器を取り上げ、ダイヤルトーン（ツー）を聞き、ダイヤル可能であることを確認します。この時、着信／確認ランプが点灯します。

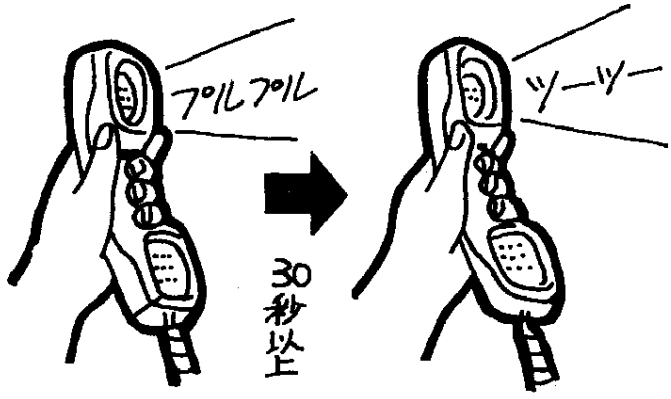
※ビジートーン（ツーツー）が鳴っていたら通話できません。(着信/確認ランプは点滅)。



(2)通話する相手の番号（２桁）をダイヤルします。この時、ダイヤル確認音（ピッ、ピッ）が聞こえます。



(3)相手を呼出しているときは、リングバックトーン（プルプル）が聞こえます。約30秒以内に応答がないときは、自動的に呼出しが止まりビジートーン（ツーツー）に変わりますのでご注意ください。

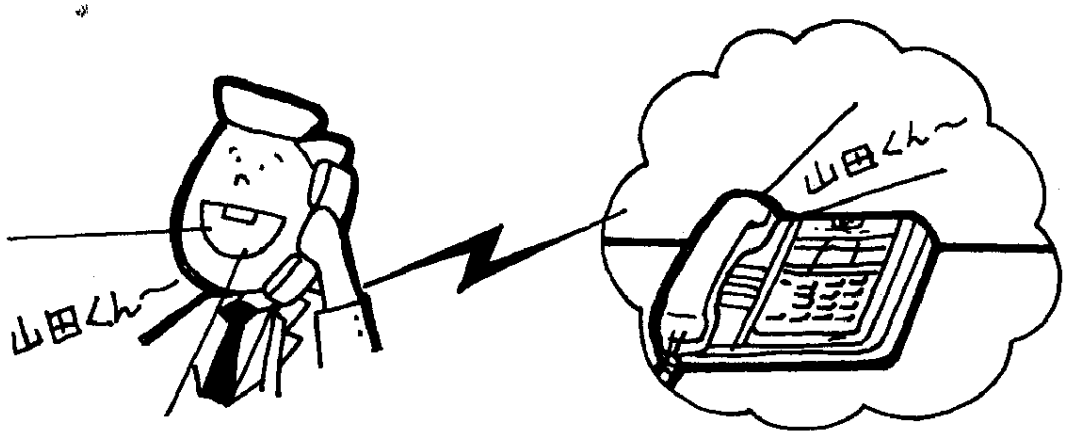


●相手局が話中か通話路が全部使われている場合は、ビジートーン（ツー、ツー）が聞こえますので送受器を掛け、しばらく待ってからかけ直してください。

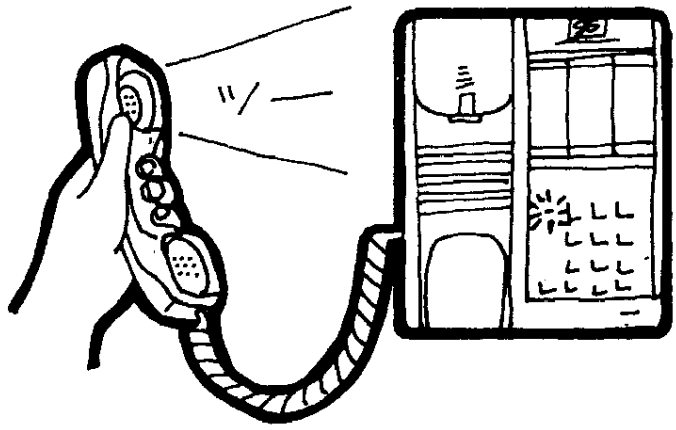
(4)応答がありましたらそのまま通話してください。

音声呼出し

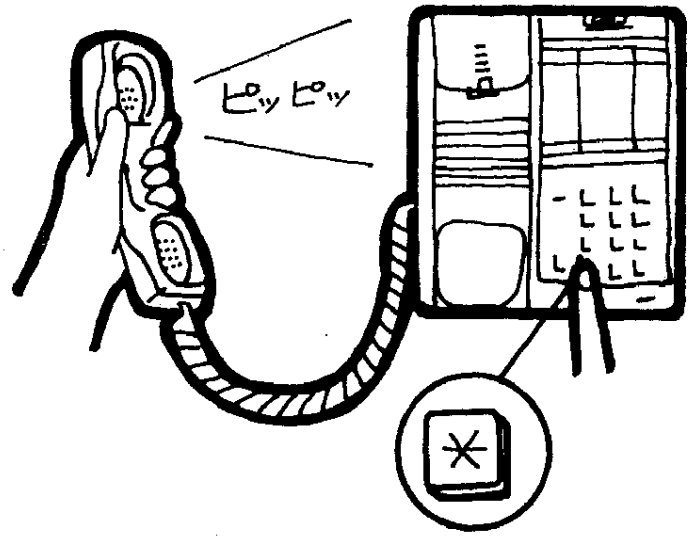
■信号音での呼出しのほかに、音声でも呼出しができます。



(1)送受器を取り上げ、ダイヤルトーン(ツー)を聞き、ダイヤル可能であることを確認します。
(着信／確認ランプが点灯)
※ビジートーン(ツーツー)が鳴っていたら通話できません。(着信/確認ランプは点滅)



(2)選局ボタンの[米]ボタンを押してから、相手の番号(2桁)を押し、音声で呼出してください。(相手のテレホンには1回だけ呼出音が鳴ったのち音声呼出になります)
※選局ボタンを押すと、ダイヤル確認音(ピッピッ)が鳴ります。
●相手局が話中か通話路が全部使われている場合は、ビジートーン(ツー、ツー)が聞こえますので送受器を掛け、しばらく待ってからかけ直してください。



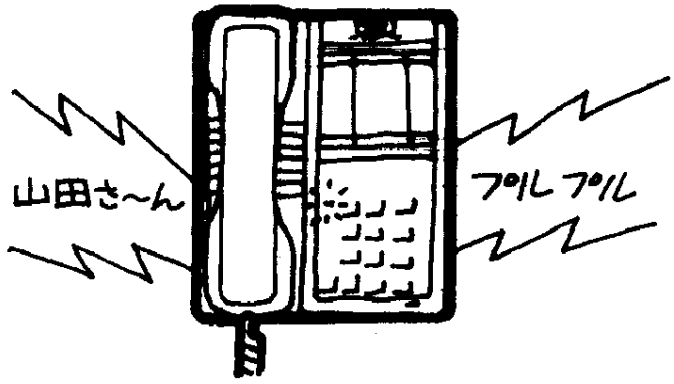
※音声呼出しで相手が30秒以内に応答しないときは自動的に呼出しはビジートーンにかわりますのでご注意ください。

呼出されたら

■呼出された側は、リングトーン（プルプル）か音声が出ますので、送受器を取り上げ通話します。

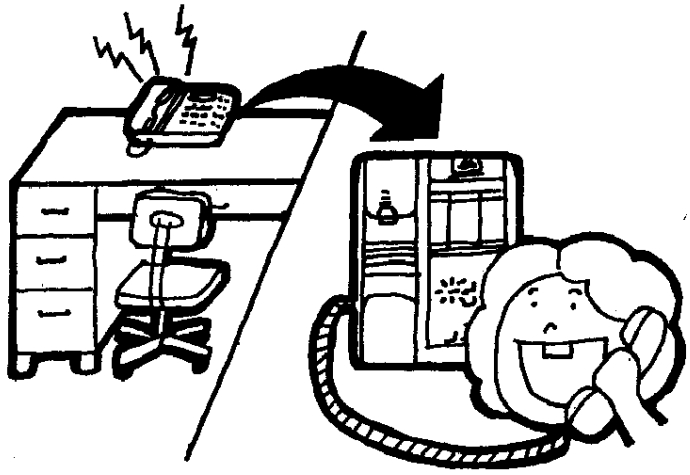
※音声で呼ばれたり、呼出音が鳴ると同時に着信/確認ランプが点灯します。

㊟応答側が通話中「C」ボタンを押すと通話が切れますのでご注意ください。

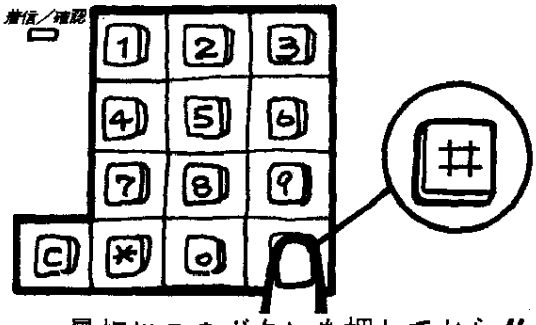


代理応答（コールピックアップ）

■離れたデスクのテレホンが呼出されている場合でも、お手近のテレホンから応答することもできます。



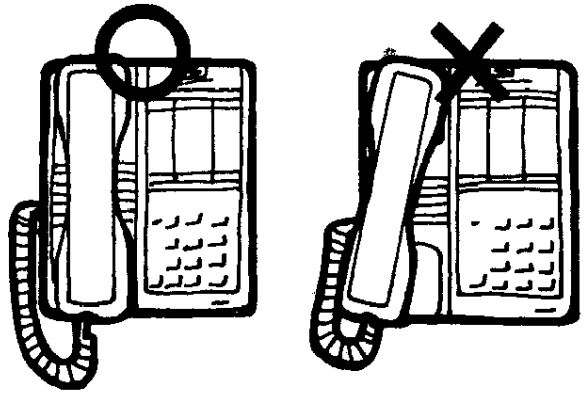
(1)送受器を取り上げ、選局ボタン[#]を押し、次に呼出されているテレホンの番号を押して応答してください。
同時に着信／確認ランプが点灯します。



最初にこのボタンを押してから!!

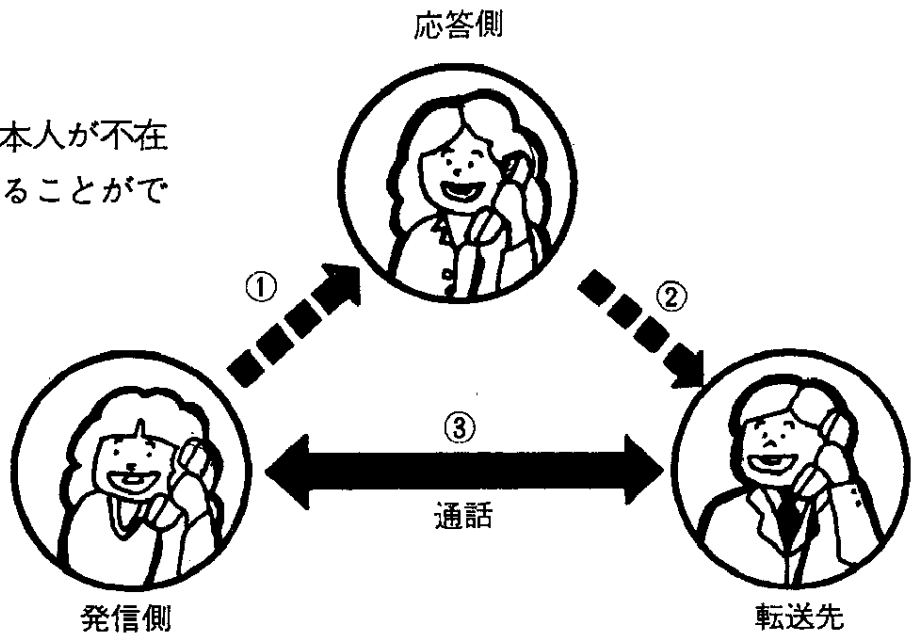
通話が終ったら

●通話終了後は、送受器を正しく掛けてください。

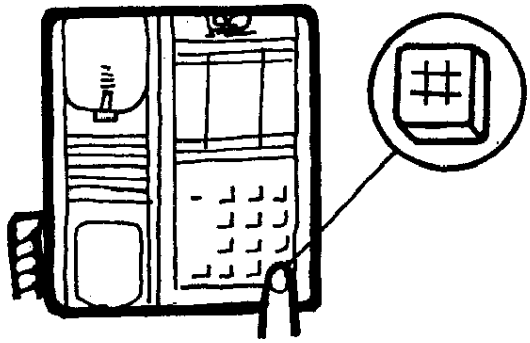


着信転送

■送受器をあげ応答したあと、本人が不在の場合には、行き先へ転送することができます。



(1)通話中、応答側で転送ボタン「＃」に続いて転送先の局番(２桁)をダイヤルします。
(転送する人はあらかじめ、発信側に転送先局番を連絡してください。)

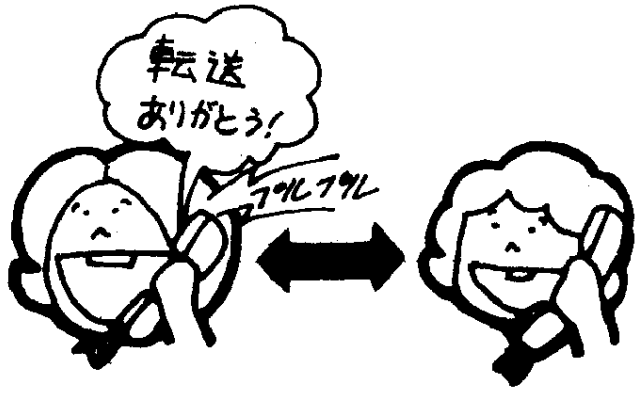


●ダイヤルが終了するとビジートーン(ツー、ツー)が聞こえますので送受器を掛けてください。

(2)発信側では転送してもらうと、リングバックトーン(プルプル)が聞こえます。

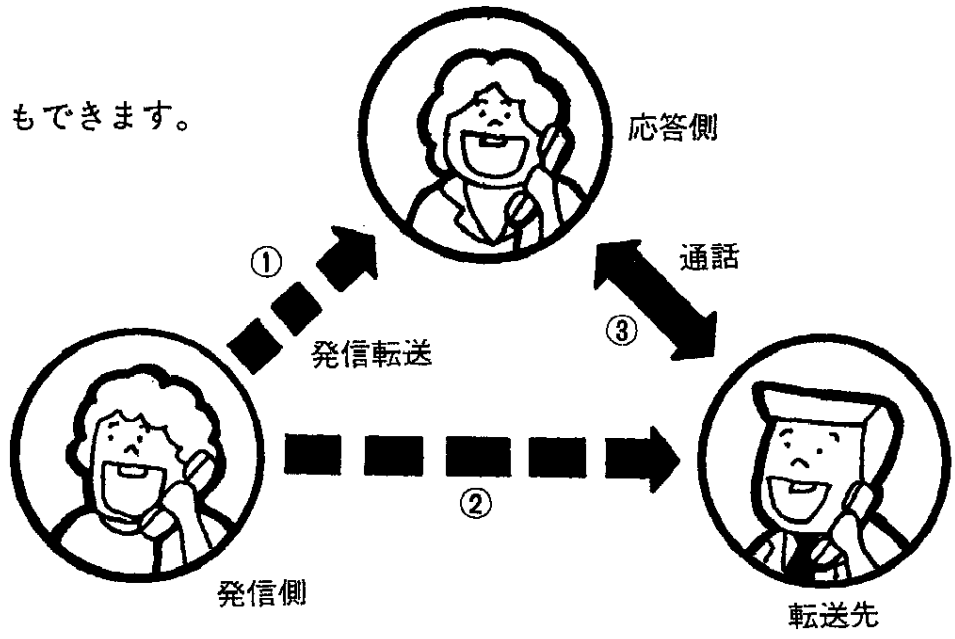
●転送先が送受器を取り上げると、リングバックトーン(プルプル)が止まり通話ができます。

(3)通話が終りましたら、送受器を掛けてください。



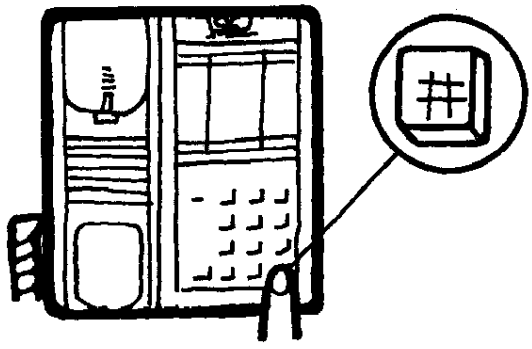
発信転送

■発信側で転送をすることもできます。

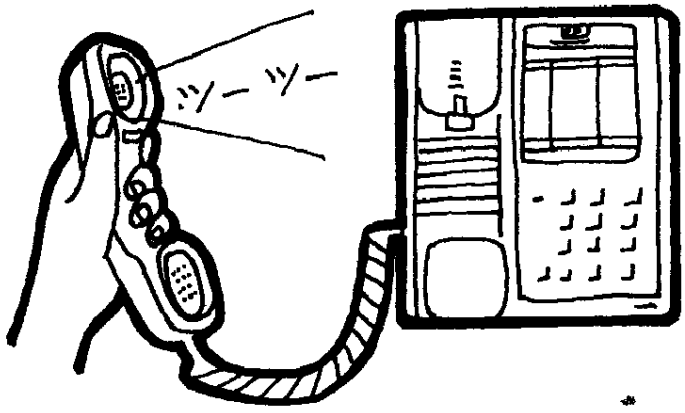


(1)相手を呼出し、相手の応答があったら転送する旨を伝え、そのまま待ってもらいます。

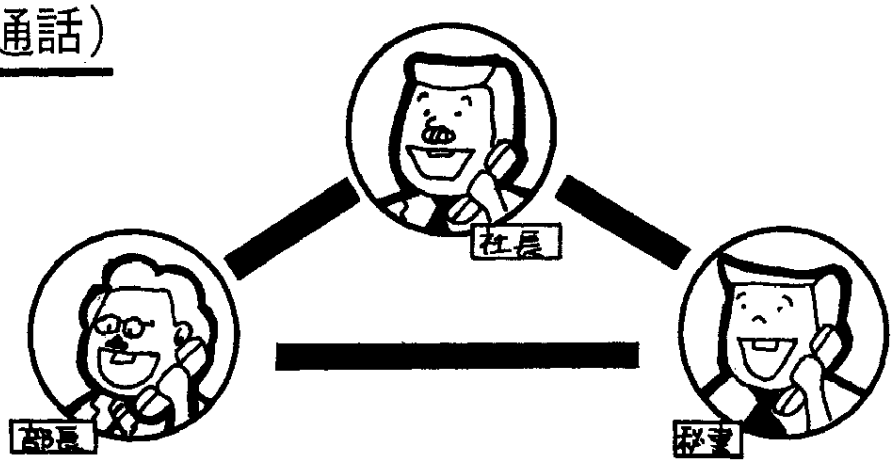
(2)発信側で、転送ボタン「＃」に続いて転送先の局番(２桁)をダイヤルします。



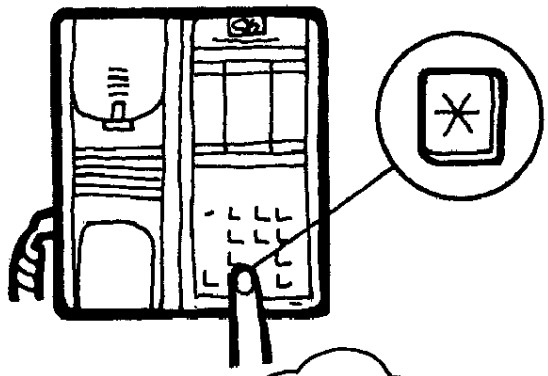
(3)転送先のダイヤルが終了するとビジートーン(ツー、ツー)が聞こえますので、送受器を掛けてください。



会議通話(３者間通話)

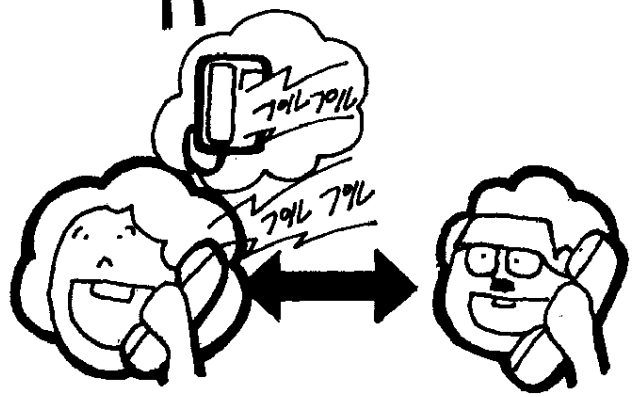


(1)通話中、他の人を通話に加えたい場合は発信側、応答側いずれかが、会議ボタン「＊」に続いて、第３者の局番をダイヤルします。

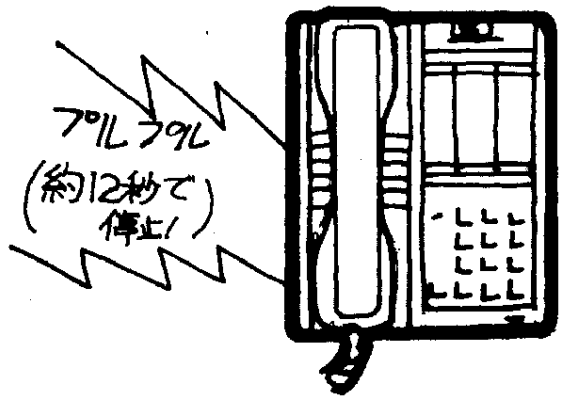


(2)通話中のテレホンにはリングバックトーン(プルプル)が聞こえます。

(3)呼出された第３者は送受器を取り上げ応答します。

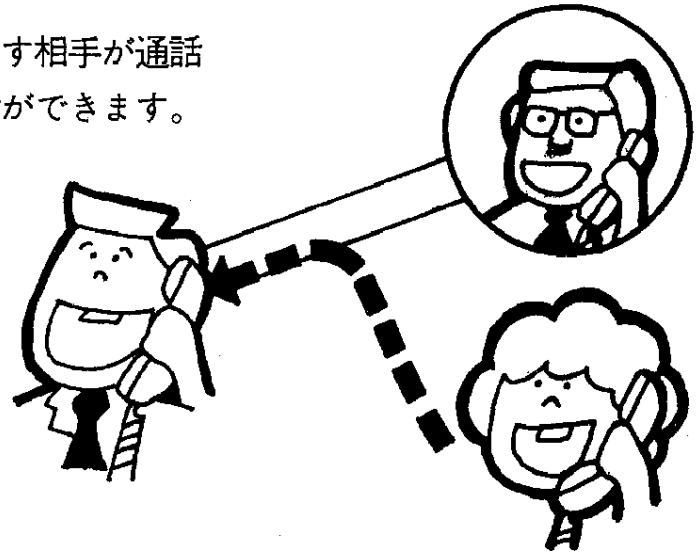


●第３者が約12秒以内に応答しないと、自動的に呼出しが止まります。
●第３者が話中の場合にはリングバックトーン(プルプル)が聞こえません。



話中割込通話

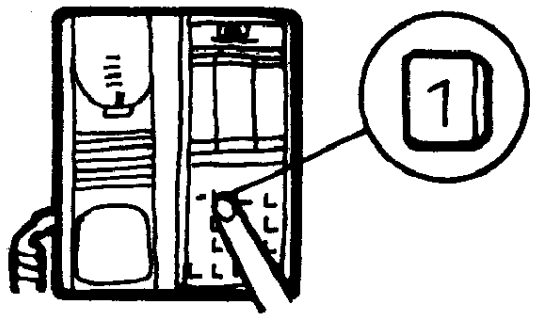
■緊急の連絡などの時、呼出す相手が通話中の場合でも、割込み通話ができます。



●送受器を取り上げ、呼出す相手の番号(2桁) をダイヤルします。
次に[1]の割込ボタンを押すと、通話に割込めます。

注). 最初の発信者が送受器を掛けると他の2者にはビジートーン(ツーツー)が聞こえます。

[発信者以外の人が送受器を掛けても他の2者は通話を続けることができます]



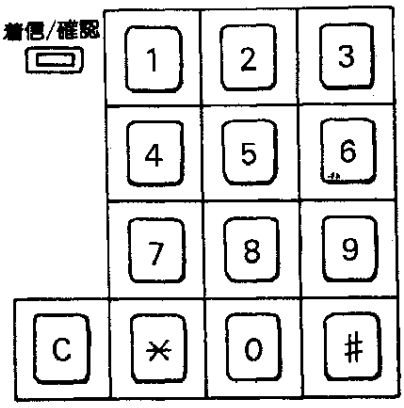
コントロールボタン

VL−250CAN／251CAN

●アダプタを接続して、ＶＴＲ、一斉放送、電気設備の電源などをリモートコントロールするときに使用します。

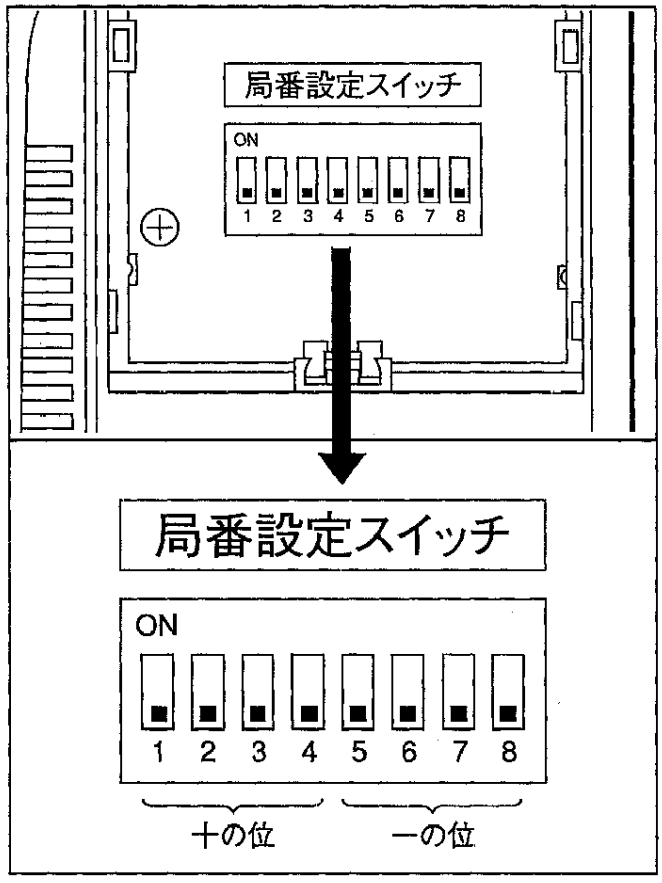
※通常の操作時は押さないでください。

※リモートコントロールについては各種アダプタの取扱説明書を参照してください。

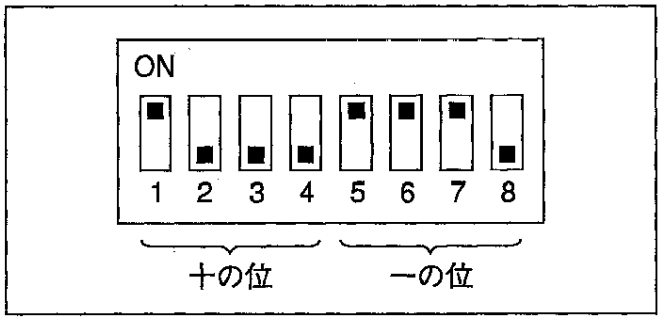


番号設定方法

①下表の「局番設定について」を参考に局番設定スイッチで局番を設定してください。



＜例＞「17」番と設定した場合



●局番設定について　※○印を「ON」側にしてください。

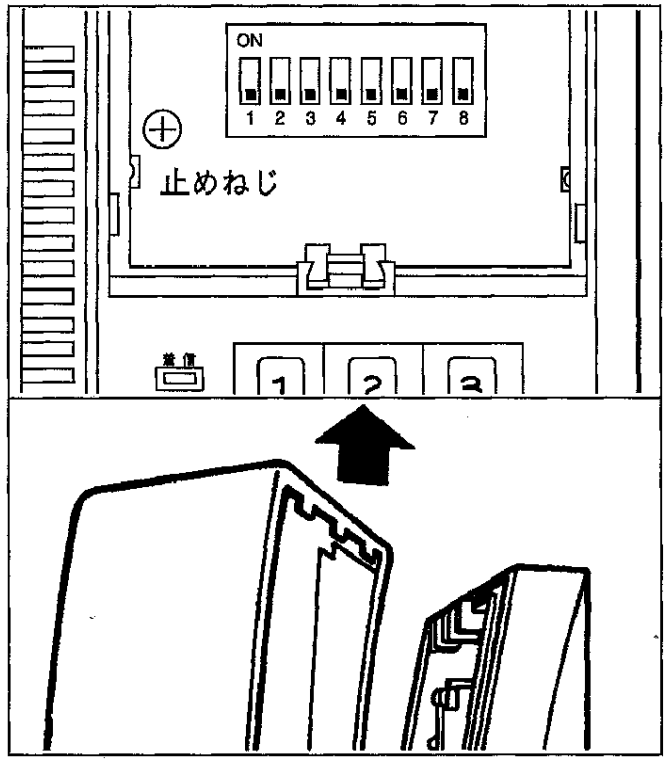
局番設定スイッチの番号 / 設定したい数値	十の位				一の位			
	1	2	3	4	5	6	7	8
0								
1	○				○			
2		○				○		
3	○	○			○	○		
4			○				○	
5	○		○		○		○	
6		○	○			○	○	
7	○	○	○		○	○	○	
8				○				○
9	○			○	○			○

※同一局番は2台以上設定しないでください。

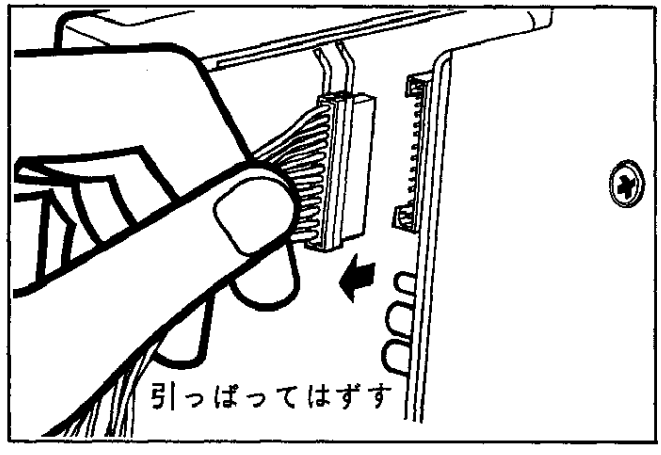
取付方法

壁掛形の取付け（VL-250AN／250CAN／VM-M250ADKN）

①記名カードの裏にある本体ケースの止めねじをはずして、上ケースを上方にずらして開け、上ケースと下ケースに分けます。

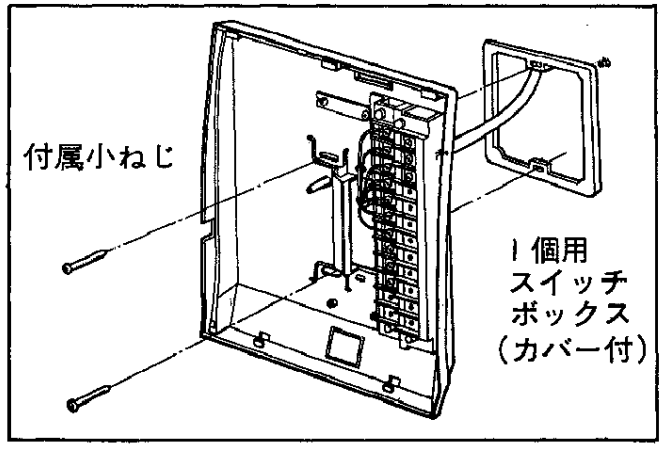


②下ケースから、上ケースのＰＢに接続してある配線コネクタをはずします。



③下ケースを、付属の小ねじ（または木ねじ）で壁に固定します。

＊スイッチボックスはJIS　1個用スイッチボックス(カバー付)に適合。



④配線します。

卓上形の端子板の取付け（VL-251AN／251CAN／VM-M251ADKN）

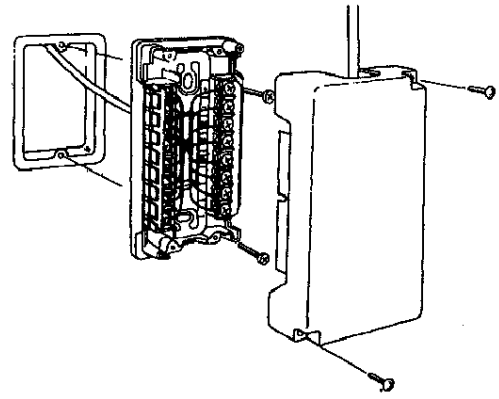
(1)1コ用スイッチボックスに取り付ける場合

①ふたを止めている２本のねじをはずします。

②端子板を付属の小ねじでスイッチボックスに取り付けます。

③結線をした後、もとどうりにふたをかぶせて２本のねじで止めます。

※小形１コ用スイッチボックス(カバーなし)には取り付けられません。

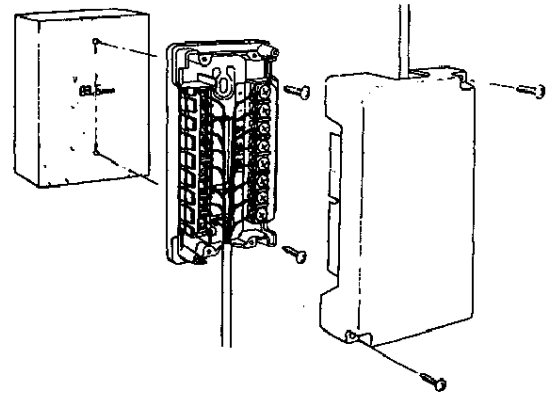


(2)柱などに取り付ける場合

①ふたを止めている２本のねじをはずします。

②端子板を取り付けようとする位置に付け、付属の木ねじで取り付けます。

③結線をした後、もとどうりにふたをかぶせて２本のねじで止めます。



仕　様

形式 / 仕様	壁掛形		卓上形	
	3通話路	VM-M250ADKN VL-250AN, VL-250CAN	3通話路	VM-M251ADKN VL-251AN, VL-251CAN
電　源	VL-751ANまたはVL-755Nより供給			
通話方式	送受器による同時通話			
通話路	3通話路			
サービストーン	ダイヤルトーン　約400Hz連続音 ビジートーン　約400Hz断続音 ダイヤル確認音　約800Hz連続音 リングトーン（呼出音）　約740Hz/約700Hz（12Hz変調）断続音 リングバックトーン　リングトーンと同じ			
呼出音量	80ホーン以上/50cm			
外形寸法	高さ約88mm　幅167mm		高さ約120mm　幅167mm　奥行210mm	
質　量	約1.3kg		約1.3kg	
設置方法	壁掛形		卓上形	
外観材質	プラスチック（ABS樹脂）			
許容線路抵抗値	電源線（電源部～最遠テレホン） ループ値20Ω（系列ごと） 信号線（最遠テレホン間）ループ値100Ω 配線材料には必ずペア線を使用。			

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ/
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ/

■保証書(電源部に添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

電源部の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**

  保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**

  修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、テレホン96の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

(注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金のしくみ**

  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代は、部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

最寄りの お客様相談窓口	電話（　　）　　ー

松下電工株式会社　HA・セキュリティ事業部
本　社〔〒571−8686〕大阪府門真市門真1048　　TEL (06) 6908−1131(大代表)
津工場〔〒514−8555〕三重県津市大字藤方1668　TEL (059) 228−1211(代　表)

7A2138Z9H
A-7095